



# ネットワーク分析

- [統計 \(Stats\)](#) (1 ページ)

## 統計 (Stats)

このビューでは、選択した Multicloud Defense ゲートウェイの帯域幅と接続を、瞬時に、および選択した時間枠で詳細に可視化できます。

### 手順

- ステップ 1** [調査 (Investigate)] > [ネットワーク分析 (Network Analytics)] > [統計 (Stats)] に移動します。
- ステップ 2** 初期設定では、[すべてのCSPアカウント (All CSP Accounts)] と [すべてのゲートウェイ (All Gateways)] の統計が表示され、時間枠はデフォルトで [過去1時間 (Last 1 hour)] に設定されます。
- ステップ 3** X 軸と Y 軸は、時間枠の選択/帯域幅に基づいてグラフィカルに自動スケーリングされ、表示中に自動更新されます。このページを表示している間、統計情報は 5 秒ごとに更新されます。
- ステップ 4** フィルタバーのドロップダウンオプションを使用して表示内容を絞り込み、特定の [アカウント (Account)]、[CSPタイプ (CSP Type)]、または [インスタンスタイプ (Instance Type)] の統計を表示できます。  
[インスタンスタイプ (Instance Type)] を選択すると、CPU 使用率とメモリ使用率の 2 つの追加統計が表示されることに注意してください。
- ステップ 5** 次に示すように、プルダウンから [時間枠 (Timeframe)] を選択します。オプションは、[過去15分 (Last 15 mins)] [過去1時間 (Last 1 hour)] [過去1日 (Last 1 day)] [過去7日間 (Last 7 Days)] [過去30日間 (Last 30 days)] です。

## 総帯域幅

合計ネットワーク帯域幅は、所定の時間内にネットワーク接続を介してデータを送信するための有線またはワイヤレス通信リンクの最大キャパシティを示す測定値です。この値は、**合計速度** (選択したゲートウェイのインバウンド帯域幅とアウトバウンド帯域幅を足したもの)、イ

ンバウンド帯域幅（ゲートウェイに入る帯域幅）、およびアウトバウンド帯域幅（ゲートウェイから出る帯域幅）を集計した値です。

## CPU 使用率



(注) この統計は、ページ上部にあるフィルタバーから [インスタンスタイプ (Instance Type)] を選択に含めた場合にのみ使用できます。

この表示は、通常よりもメモリ使用量が多いゲートウェイインスタンスに関する情報を提供します。この情報を使用して、CPU キャパシティに基づいてゲートウェイアクティビティのパフォーマンスをモニターおよび最適化できます。また、これらの統計情報を使用して、トラフィックの傾向と、動作に対して CPU で表される労力を評価することもできます。

## メモリ使用率



(注) この統計は、ページ上部にあるフィルタバーから [インスタンスタイプ (Instance Type)] を選択に含めた場合にのみ使用できます。

この表示は、通常よりもメモリ使用量が多いゲートウェイインスタンスに関する情報を提供します。この情報を使用して、メモリ使用率のキャパシティに基づいてゲートウェイアクティビティのパフォーマンスをモニターおよび最適化できます。

## Connection Rate

接続レートとは、試行されたコールの総数のうち、正常に接続されたコールの割合を指します。具体的には、**接続数**（現在アクティブな接続の合計数）と **1 秒あたりの接続数**（ゲートウェイへのインバウンド接続とアウトバウンド接続の両方の帯域幅）に一致します。

## HTTP 要求レート

[HTTP要求レート (HTTP request rate)] は通常、システムにどの程度の需要が発生しているかを測定するもので、高レベルのシステム固有のメトリックで測定されます。Web サービスの場合、この測定値は通常、1 秒あたりの HTTP リクエスト数です。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。